

平成30年 第10回

戸田市教育委員会定例会

平成30年9月27日（木）午前9時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

第10回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案について 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 議案

議案第20号 平成31年度当初教職員人事異動の方針について（案）…………… 1

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

平成30年10月25日（木）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

平成31年度当初教職員人事異動の方針について（案）

戸田市教育委員会は、ここに平成31年度当初人事異動を推進するに当たり、教職員人事異動の方針を次のとおり定め、その実現を期するものである。

その実施に当たっては、戸田市立小・中学校長を始め関係各位の積極的な取組を願いたい。

平成30年9月 日

戸田市教育委員会

平成31年度当初戸田市立小・中学校教職員人事異動の方針（案）

戸田市教育委員会

- 1 埼玉県教育委員会の「平成31年度当初教職員人事異動の方針」及び「平成31年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」に基づき、埼玉県教育委員会及び各市町村教育委員会との緊密な連携の下、円滑、適正な人事異動を行い、本市学校教育の充実と進展を図る。
- 2 本市の現状を踏まえ、教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、長期的展望に立った人事異動を積極的に進める。
- 3 配当定員に対して過員を生ずる場合は、その調整のための異動を優先して行う。
- 4 学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、教職員は、同一校在職10年以内に異動を行う。特に、7年以上の者については、積極的かつ計画的に異動を行う。
- 5 新採用以来在職する教職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、5年以内に異動を行う。その際、原則として市町村間の異動を行う。
- 6 次の事項に該当する教職員（教頭及び主幹教諭を除く。）については、原則として異動を行わない。
 - (1) 同一校在職3年未満の者
 - (2) 産休・育休等を取得中及び妊娠中の者
 - (3) 休職中の者
- 7 管理職候補者名簿登録者については、豊かな職務経験をさせるため、積極的に異動を行う。
- 8 定年退職者等の再任用職員については、豊かな経験を生かすとともに、調和のとれた学校運営に資するため、適切な配置に努める。
- 9 女性教職員の個々の能力、適正等を考慮し、積極的な登用に努める。

教育委員提案について

平成30年第10回教育委員会(定例会)

平成30年9月27日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案について

ページ

- ① 「教室を科学する」について（鈴木委員） 1
（教育政策室）
- ② 図書館本館の休館に伴う臨時自習室の実施状況について（鈴木委員） 2
（生涯学習課）

「教室を科学する」について

「教室を科学する」とは

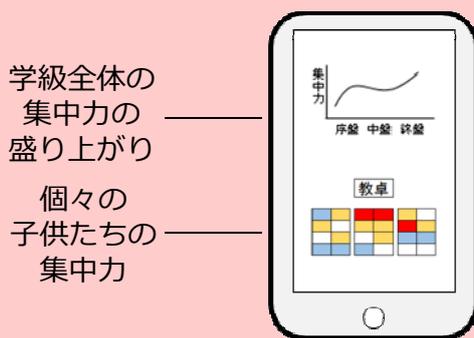
教室での教師の指導や児童生徒の学びを最先端の技術により科学的に検証し、これまで教師の経験知や暗黙知によって判断されてきた教室での指導を可視化し、指導改善に役立てること。教師の自己の指導や子供の学びへの気づきや、他の教師の優れた指導法の客観的な判断などに役立つ。

より広義には、学校での業務改善を科学することや、子供たちの生活習慣を科学することなども含む。

今後具体化を検討するプロジェクト

1. リアルタイムでの活用

(例) 子供の集中力が座席ごとにわかるヒートマップを作成し、教師が子供の集中度合いをリアルタイムで把握できるようにする。



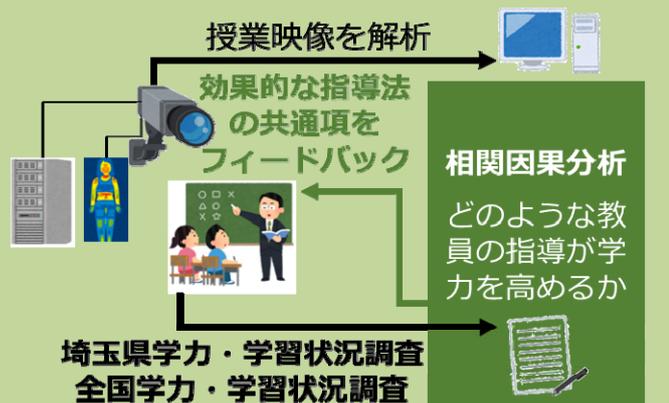
2. 日々の授業改善への活用

(例) クラスごとの子供の生態反応等の解析データを取り、どこでどの程度集中したか等を分析することにより、授業改善に役立てる。



3. 優れた指導法の分析

(例) クラスごとの子供の生態反応データと学力調査結果等との相関関係を分析し、学力向上等のための有効な指導法を明らかにする。



4. その他

(例) 夜の睡眠の質等の生徒の生活習慣と翌日の集中力との関係を分析し、睡眠指導に活かす。



教育委員提案②

図書館本館の休館に伴う臨時自習室の実施状況について

1 目的

図書館本館は大規模な設備改修工事を実施するため、2018年7月1日から2020年3月31日まで休館する。しかし、本館の自習席については、市内中学校の試験日直前の土曜日・日曜日・祝日、またそれ以外でも日曜日・祝日を中心に利用者が多い状況であることなどを勘案し、休館期間中、自習席の代替措置として市内公共施設に臨時自習室を開設する。

2 実施内容

2018年7月1日（日）から2020年3月29日（日）まで、以下の施設で臨時自習室を開設する。

(1) 新曽福祉センター（新曽公民館）

- ・場 所：2階 第1会議室（定員16名）、第2会議室（定員8名）
- ・開 設 日：日曜日・祝日
- ・開設時間：午前9時～午後6時
- ・休 室 日：年末年始（12/29～1/3）・図書館新曽配本所の特別整理期間・公民館まつり前日及び開催日ほか
- ・管 理：図書館新曽配本所の窓口等業務委託の受託職員
- ・実 績：（定点調査）最大で12名程度

(2) 西部福祉センター（美笹公民館）

- ・場 所：2階 準備室（定員16名）
- ・開 設 日：毎日（休室日を除く）
- ・開設時間：午前9時～午後6時
- ・休 室 日：第2、4、5月曜日（祝日は開室）・年末年始（12/29～1/3）・図書館美笹分室の特別整理期間・公民館まつり前日及び開催日ほか
- ・管 理：図書館美笹分室の窓口等業務委託の受託職員
- ・実 績：（定点調査）最大で7名程度

3 今後の予定

2018年10月13日（土）から2020年3月29日（日）まで、芦原小学校内にある生涯学習施設の集会室で中学生のみを対象とした自習室を開設する予定である。

(1) 芦原小学校 生涯学習施設

- ・場 所：1階 集会室（定員30名程度）
- ・開 設 日：【2018年度】10/13（土）、10/14（日）、11/23（金祝）、11/24（土）、11/25（日）、2/23（土）、2/24（日） ※2019年度は別途検討
- ・開設時間：午前9時～午後6時
- ・対 象：市内在住又は在学の中学生
- ・利用方法：生涯学習施設入口（校庭側）で生徒手帳を提示
- ・管 理：生涯学習施設業務委託の受託職員及び図書館担当職員

新曽福祉センター 臨時自習室 利用統計

H30.8.27現在

2018年 7月

第1会議室

		11:00	13:15	15:00	17:00
1	日			8	5
8	日	3	4	2	0
15	日	4	4	5	5
16	祝	3	3	3	1
22	日	3	3	5	2
29	日	3	3	4	4
合計		16	17	27	17

第2会議室

		11:00	13:15	15:00	17:00
1	日			4	4
8	日	3	0	1	0
15	日	2	2	2	1
16	祝	2	1	2	1
22	日	1	2	1	1
29	日	1	0	0	2
合計		9	5	10	9

合計

		11:00	13:15	15:00	17:00
1	日	0	0	12	9
8	日	6	4	3	0
15	日	6	6	7	6
16	祝	5	4	5	2
22	日	4	5	6	3
29	日	4	3	4	6
合計		25	22	37	26

2018年 8月

第1会議室

		11:00	13:15	15:00	17:00
5	日	2	3	6	2
11	祝	0	0	1	0
12	日	2	2	3	2
19	日	3	2	1	1
26	日	1	1	2	5
合計		8	8	13	10

第2会議室

		11:00	13:15	15:00	17:00
5	日	1	0	2	1
11	祝	1	0	0	0
12	日	1	2	2	1
19	日	0	0	1	1
26	日	1	0	1	0
合計		4	2	6	3

合計

		11:00	13:15	15:00	17:00
5	日	3	3	8	3
11	祝	1	0	1	0
12	日	3	4	5	3
19	日	3	2	2	2
26	日	2	1	3	5
合計		12	10	19	13

西部福祉センター 臨時自習室 利用統計
2018 年 7 月

H30.8.31現在

2018 年 8 月

		11:00	13:15	15:00	17:00
1	日	4	5	6	5
2	月	1	0	1	3
3	火	0	1	5	2
4	水	0	0	5	4
5	木	2	1	2	0
6	金	1	1	2	1
7	土	4	2	4	3
8	日	1	1	2	2
9	月				
10	火	1	0	4	2
11	水	2	2	3	1
12	木	1	0	1	0
13	金	1	1	2	0
14	土	2	3	5	1
15	日	1	1	1	3
16	月	3	3	3	2
17	火	0	0	4	2
18	水	0	1	3	1
19	木	1	2	1	1
20	金	0	1	1	1
21	土	3	4	4	2
22	日	1	2	2	3
23	月				
24	火	2	1	4	1
25	水	1	3	4	0
26	木	1	1	3	0
27	金	2	0	4	2
28	土	2	1	1	0
29	日	2	1	0	0
30	月				
31	火				
合計		39	38	77	42
累計		39	38	77	42

		11:00	13:15	15:00	17:00
1	水	0	1	2	2
2	木	3	3	4	3
3	金	3	2	2	1
4	土	3	3	6	4
5	日	3	1	5	3
6	月	1	0	3	1
7	火	0	0	2	0
8	水	1	2	3	1
9	木	2	1	1	0
10	金	1	1	2	2
11	土	1	2	3	1
12	日	3	3	2	2
13	月				
14	火	2	2	2	3
15	水	0	1	0	1
16	木	3	2	3	3
17	金	2	2	3	1
18	土	2	3	2	2
19	日	2	2	3	3
20	月	1	1	3	7
21	火	1	0	2	3
22	水	2	1	4	1
23	木	2	0	1	1
24	金	0	1	3	2
25	土	1	0	3	1
26	日	2	2	1	2
27	月				
28	火	0	0	1	1
29	水	0	1	1	0
30	木	1	1	3	1
31	金				
合計		42	38	70	52
累計		81	76	147	94

報告事項

平成30年第10回教育委員会(定例会)

平成30年9月27日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 報告事項

ページ

- ① 平成30年第3回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問及び常任委員会について…… 1
- ② 中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について…… 9
（学務課）
- ③ 平成30年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について…… 10
（教育政策室）
- ④ 「授業がわかる調査」調査結果の概要について…… 11
（教育政策室）
- ⑤ 子育て講演会の開催について…… 19
（生涯学習課）
- ⑥ 平成30年度第1回戸田市海外留学奨学生について…… 20
（教育総務課）
- ⑦ その他

平成30年第3回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問及び常任委員会について

佐藤太信議員（戸田の会）

2 化学物質と化学物質過敏症について

(3) 化学物質に関して、子供あるいは保護者からの相談はあるのか。化学物質における対応について伺う。

→ これまで、本市では各学校での化学物質に関する相談はない。

次に、本市の取組として、各学校では教室や特別教室の環境衛生の維持・改善を図るため、年に1回、ホルムアルデヒド、トルエン等の6項目について、空気の検査を実施している。

また、必要に応じ、化学物質過敏症に対応した教科書を配布することとなっているが、本市の場合は配布した事例はない。

今後、化学物質に関する相談があった場合には、学校と保護者が連携を図り、個々のニーズへの対応が十分に行えるよう、各学校にも指導していく。

金野桃子議員（戸田の会）

1 熱中症対策について

(1) 熱中症の現状と対策について。

→ 今年度、熱中症により病院に搬送されたケースは、7月に1件報告されている。サッカー部の校庭での活動中に体調不良を訴えたもので、軽度の熱中症と診断されたが、大事には至らなかった。

本市の熱中症対策としては、まず、本年度の夏季休業中について、「熱中症予防に係る小・中学校の夏季休業中の活動方針」を策定した。新聞をはじめ、マスコミでも大きく取り上げられたとおり、内容については、小学校のプール活動全面中止をはじめ、前日午前11時時点の戸田市気象情報において、最高気温35度以上が予想される日は、小学校では全面活動中止、中学校では体育館等の冷房が効かない場所を含め、屋外活動を中止するというものである。方針策定前は、熱中症による搬送は一件であったが、方針策定後は、報告されていない。

また、夏季休業後についても暑さが見込まれることから、「熱中症予防に係る小・中学校の活動方針」を新たに策定し、8月27日より適用している。内容については、夏季休業中の方針に準ずるものになっている。

また、本方針には、熱中症対策に関する知識等の啓発のため、全ての管理職、屋外活動に関わる教職員が、熱中症予防や熱中症が発生した際の適切な対応について、必要な知識を十分に身に付けることも規定している。

今後とも、子供たちの命を守ることを第一に、適切な活動が行われるよう、熱中症予防に万全を期していく。

(2) 小中学校のエアコン設置について。

① 学校全体の設置状況について。

→ 市内小中学校では、全県に先駆け、平成16年度から職員室、普通教室、特別教室など全ての教室にエアコンを設置している。稼働基準としては、原則として、室内温度が28℃を下回らないように設定し、除湿機能や送風機能を有効的に活用することとしている。

② 体育館へのエアコン設置について。またはクールスポットの設置等について。

→ 現在、体育館には、エアコンやクールスポットは設置していないが、近年の異常気象に鑑み、既にこれらの導入について研究を始めているところである。

③ 給食センター及び単独校調理場へのエアコン設置について。または冷風機の設置等について。

→ 現状では、学校給食センター及び小学校9校の単独校調理場の全てに既にエアコンを設置している。

しかし、ある学校においては、調理作業の過程で室温が上昇し、エアコンの効きが十分とは言えない場合があることも承知している。

そこで、早急にその学校の作業環境の改善を図るべく、エアコンの増設等改善策を検討しているところである。

(3) 水筒の持ち込みについて。

① 市内の小中学校の水筒の持ち込み状況について。

→ 水筒の持ち込みについては、市内全ての小中学校で認められている。持ち込み可能な期間については、小学校5校、中学校5校が年間をとおして、残りの小学校7校、中学校1校は、5月から10月頃までを中心に、期間を設けている。

なお、これらの水筒の持ち込みについては、保護者通知や学校だより等で各家庭に周知している。

② 全校で年間を通して持ち込み可能にできないか。

→ 水筒の持ち込みの可否は、生徒指導や家庭の状況により、各学校の管理運営事項

として、本市に限らず校長が判断することとなっている。

(4) 運動会等の屋外行事でのテントについて。

① 設置状況について。

② 学校用として購入、レンタルできないか。

→ 運動会においては、現状全ての小中学校で、敬老席を含む本部用テントを設置している。

児童・生徒用のテントについては、小学校では3校設置し、中学校では設置していない。

学校用テントの購入については、学校に担当している備品予算の中で学校が必要であれば、購入することになる。レンタルについては、現在のところ考えていない。

むとう葉子議員（日本共産党）

3 LGBTQ等、性的少数者の方たちへの支援について

(1) 性的少数者に対する理解と支援が必要と考え、市の対策について伺う。

① 学校現場において、その後の取り組みは。

→ 現在、教育委員会や学校において、LGBTQ 等に関する相談は寄せられていない。しかし、これらの児童生徒へのきめ細やかな対応を実施するために、研修等を通じて教職員の理解を深めることや、悩みや不安を抱える児童生徒がいるのではないかとという視点から相談しやすい環境を整えていくことは重要である。

そのため、本市においてはこれまでも、全小中学校において教職員に対する研修会を実施し、LGBTQ 等の特性や対応の仕方について理解を深める取組を行ってきた。

また、悩んでいる時には養護教諭に相談するなどの対処の方法を伝えるポスター等を掲示したり、関係する書籍を図書室や保健室に置いたりしている学校もある。

さらに、児童生徒への啓発については、発達段階を考慮した上で、昨年度から小学校5年生で本市の協働推進課が作成したパンフレット「考えてみよう！！男女共同参画って何だろう」を活用した学習を行っている。ここでは、様々な悩みや不安を抱える児童生徒に対する支援の土台として、人は一人一人違うことや違って良いこと、性別によって相手を差別しないこと、性別によって相手の役割を決めつけないことなどを学んでいる。

本学習については、協働推進課と教育委員会で連携し、作成した指導事例を併せて配付しており、各学校は統一した内容に沿って指導を行えるようになっている。

今後も教育委員会としては、LGBTQ 等を含め、多様な悩みや不安を抱える児童生徒が相談しやすい体制を整えていきたいと考えている。

竹内正明議員（公明党）

2 交通安全対策について

(1) 通学路について、危険箇所への対応要望があった場合の、その後の進捗管理や関係部署間の連携強化等について、平成28年の12月議会で取り上げた。現状について伺う。

→ 通学路は、各学校の校長が交通量や危険箇所等を踏まえ、児童生徒が安全に登下校できる経路を総合的に判断して定めている。校長は、教職員の定期的な点検、保護者や地域からの要望等を通じて、通学路の危険箇所を把握し、市の対応が必要と判断した場合、教育委員会に具体的な対応の依頼を行う。

これを受け、教育委員会は、依頼の内容に応じて道路河川課や防犯くらし交通課などの関係各課や警察署に対応を依頼するとともに、必要に応じて交通指導員を増員するなど、適宜対応している。

また、平成28年12月の竹内議員の一般質問を受け、各学校の校長から挙げられた危険箇所については、進行管理表を作成し、定期的に関係各課や警察署等に進捗の確認をしている。

今後は、確認した結果を随時学校に伝え、危険箇所を連絡してくださった方へも必要に応じてフィードバックできるよう働きかけていく。なお、通学路という特別な道路があるわけではなく、戸田市の場合、主要な道路のほとんどが通学路となっている。

馬場栄一郎議員（みらいの会）

1 戸田市部活動方針について

(1) 部活動の位置づけをどのように捉えているか。

→ 部活動は、これまで顧問の教師や保護者、地域の人々に支えられながら、興味や関心を共通にする生徒の自主的・自発的な参加により取り組まれてきた。また、学習指導要領においては、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意することと位置付けられている。

一方で、大会等に向けた過度な練習による教師の多忙化や生徒の肉体的、精神的な負荷による学業への影響等の課題が顕在化していたため、本市では、本年7月に戸田市部活動方針を定め、適正かつ継続的な部活動の運営体制の在り方に係る方向性を示したところである。

(2) 生徒や保護者の認識をどのように捉えているか。

→ 昨年11月に市内中学校長、教員、外部指導員、市内中学1～2年生及びその保護者を対象に部活動の実態に関するアンケート調査を実施した。調査結果から、生徒が部活動をやっている点について、「体力や技術の向上」が27%、「友達と楽しく活動できること」が22%、「チームメイトと達成感を味わえること」が21%と上位にあがっている。保護者が部活動に期待していることについては、「チームメイトと達成感を味わえること」が45%、「体力や技術の向上」が24%、「友達と楽しく活動すること」が18%と上位を占めている。また、約7割の保護者が、要請があれば協力したいと回答し、部活動の必要性について意義を感じているところと思われる。一方で部活動の休養日に関する質問については、生徒の約8割が定期的な休養日がほしいと回答し、保護者の9割以上が休養日を設けることに肯定的な回答をしている。また、戸田市部活動方針策定に当たり実施したパブリックコメントにおいても、休養日や活動時間について定めた本市の部活動方針の適切な運用を支持する声が多数寄せられているところである。

(3) 競技力向上志向の生徒や保護者への対応は。

→ 今回策定した部活動方針により、適切な活動日や活動時間が設定され、短時間に集中して質の高い練習を行うなど、これまでよりも効率的な部活動運営が行われるものと期待している。教育委員会としても、民間のスポーツクラブ等と連携し、科学的根拠に基づいた指導やトレーニングが行われるよう部活動支援体制の構築を検討していく。

2 戸田市部活動方針について

(1) 中学校における従来の外部指導員と部活動指導員の現況は。

→ 本市ではこれまで、ボランティアとして部活動における専門的な指導を行い、顧問を支援するため、外部指導員を配置してきた。本年度は市内全ての中学校で合計23名を配置している。

一方、文部科学省が平成29年に法令で位置づけた部活動指導員については、市

が報酬を支払って学校職員として任用し、単独で引率等の一定の活動を認めるものであるが、埼玉県の補助制度がないことや人材の確保が難しいことから、本市では現時点で配置していない。

(2) 身分、任用、職務、災害補償、サービス等はどうなっているのか。

→ 本市の外部指導員は、無償でボランティアとしてお願いしているものである。地域の人材の中から校長が選出し、教育委員会の承認を経て決定している。職務については、主に専門技術に関する指導を行っていただいているが、活動日や指導時間等については、部活動顧問と調整し、無理のない範囲で計画している。なお、災害補償としては、承認時にスポーツ安全保険に加入している。

(3) 研修はどうなっているのか。

→ 本市の外部指導員は、各学校長が技量や人柄等を総合的に判断して配置しており、配置後も必要に応じて学校教育活動への理解増進を図っている。このほか、埼玉県が実施する運動部活動の種目に応じた研修会などもあり、今後これらについても、積極的に周知していく。

土屋英美子議員（日本共産党）

1 奨学金制度の見直しについて

大学の学費が大変高く、現在、日本の奨学金の利用者は、学生の半数を超えている。今の奨学金制度では、学びたくても学べない、希望どおりの進学ができない等、制度に不備があり、卒業後の返還が厳しく、社会人としてスタートした時から、多額の借金を抱えて苦しい生活を余儀なくされている。国も一定の方向を打ち出し、今、全国の自治体で若者を支援する制度が導入されている。本来「奨学」とは、学問を奨励し、それを支援するという意味である。方法はさまざまであるが、戸田市においても奨学金制度を改めて見直す時期に来ているのではないか。

(1) 戸田市の貸与型奨学金制度の現状は。

→ 本市の奨学金制度は、経済的な理由により修学困難な方に対し、奨学資金を貸し付け、有用な人材を育成することを目的としている。

奨学資金は、学校種別により国公立高校の年額12万円から私立大学の年額30万円までの額を無利子で貸し付け、卒業した年の10月から最長10年間で月々分割返済していただいている。

奨学資金の新規申請件数は、平成24年度から平成29年度までの5年間を見る

と、30件台から40件台の横ばいで推移している。また、平成30年度については、年2回の選考のうち、第1回選考終了時点で19件となっている。

なお、決定者の学校種別の内訳は、大学・短期大学等が8～9割、高校等が1～2割という状況である。

(2) 新たな奨学金制度へ見直す考えは。

→ 大学生1人当たりの1年間の学費がどのくらいかかるのかについて、日本学生支援機構の直近の調査では、平均で国公立大学65万円、私立大学136万円という結果となっている。

本市の奨学資金の貸付額については、これまで何度かの増額を経て現在の貸付額となっている。これにより、日本学生支援機構の奨学金と本市奨学資金を併用した場合、先程申し上げた1年間の学費を賄うことができるため、現在のところ、奨学資金の増額は考えていない。

また、日本学生支援機構では、大学・専門学校等への進学に当たり、平成29年度から、経済的な理由により進学が困難な状況にある学生の進学を後押しする、返還不要の給付型奨学金が創設された。あわせて、無利子貸与型奨学金の対象が拡充され、基準を満たせば希望者全員が利用できるようになったところである。

本市においては、今後の日本学生支援機構の動向を踏まえつつ、本市の申請件数への影響を注視していくこととし、現在のところ、新たな奨学金制度へ見直すことは考えていない。

矢澤青河議員（戸田の会）

1 戸田市立図書館は、本年7月1日から2020年3月31日まで長期休館している。

(1) 今回の休館と現状について。

→ 図書館本館は、大規模な設備改修工事を実施するため、本年7月1日から休館しているところであるが、本館窓口業務の代替措置として、7月から新曽福祉センター内に新曽配本所を開設するとともに、自習室の代替措置として、新曽福祉センター及び西部福祉センター内に臨時自習室を開設した。

また、現在、本館では、10月からの工事を前に事務室の移転準備や本館蔵書の一部を上戸田分館に移管する作業などを行っている。

(2) 図書館の運営と指定管理について。

→ 平成32年4月に本館を再開する際に、分室及び配本所を含め、指定管理者によ

る運営に移行するため、現在、指定管理者の公募を行っているところである。なお、図書館については、指定管理者による運営に移行しても、飽くまで戸田市立の公共図書館であるので、市民・利用者との関係性は何ら変わることなく運営することになる。

また、指定管理者募集要項の仕様書では、サービスの質を維持するため、図書館司書の資格保有者等を一定割合確保するよう明記した。その他、自主事業の提案や職員の配置など種々審査の上、より適切な事業者を決定したいと考えている。

(3) 図書館ビジョンに示される目標と施策の今後の進め方について。

→ 戸田市図書館ビジョンは、「地域の知の拠点」として目指す姿を「使いやすく、文化的で先進性を備え、市民がまた利用したいと思える図書館」とし、今後の取組を示すことを目的として、平成28年3月に策定した。このビジョンの中で掲げている施策のうち、図書館ホームページの拡充、子供の読書活動の推進事業として新小学1年生全児童への「戸田市子供読書手帳」の配布、館内BGMの放送などを実現した。

今後は、当該ビジョンの目指す姿や施策の進め方について、市民や専門家など幅広く意見を聴きつつ、実現に繋げていけるよう努力していく。

中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について

各中学校通学区域外受入予定定員数は下記のとおりとなります。

記

各中学校 通学区域外受入予定定員数

戸田中学校	25人
戸田東中学校	35人
美笹中学校	35人
喜沢中学校	35人
新曾中学校	20人
笹目中学校	35人

報告事項③

平成30年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について

No	学校名	研究教科等	研究主題	研究委嘱機関	委嘱期間	発表日
1	戸田東中	道徳、各教科	豊かな人間性と社会性をもった生徒の育成	戸田市教育委員会	28・29・30	11.2
2	新曽中	全教科等	学習意欲の向上と思考力・判断力・表現力の育成 ～主体的・対話的で深い学びとICTを取り入れた授業の実践を通して～	戸田市教育委員会	28・29・30	11.20
3	喜沢小	特別活動	望ましい集団活動を通して、心豊かに生きる児童の育成 ～「自分もよくみんなもよい」集団活動～	戸田市教育委員会	28・29・30	12.11
		特別支援教育	共生社会の形成者を育成する特別支援教育に関する研究	戸田市教育委員会	29・30	
4	戸田東小	国語 経済教育	言葉を通わせ、心を通わせ、共に高め合う児童の育成	戸田市教育委員会	28・29・30	1.24
5	戸田第一小	プログラミング 教育	プログラミング的思考の育成	埼玉県教育委員階	30	1.29
6	戸田第二小	全教科等	「動く」～主体的に学び続け、他者と協働し、新たな価値を生み出すことができる児童の育成～	戸田市教育委員会	29・30・31	1.31 (自主発表)

「授業がわかる調査」(平成30年7月実施) 調査結果の概要について

教育政策室

1 目標値

授業の内容がわかる児童生徒の割合 : 小学校90% 中学校80%

授業への取組の意欲がある児童生徒の割合 : 小学校90% 中学校80%

2 全体的な状況について

(1) 授業の内容がわかる(理解度) 小学校(4教科87% 昨年度88%)
中学校(5教科76% 昨年度77%)

※この項目のみ小学校4教科・中学校5教科のみ

・小学校、中学校ともに目標値まで少し届かない状態が続いている。

・目標を達成した教科

小学校 国語(90% 昨年度91%)

中学校 国語(82% 昨年度83%) 社会(81% 昨年度81%)

(2) 授業への興味・関心(楽しさ) 小学校(4教科78% 昨年度80%)
(全教科82% 昨年度83%)
中学校(5教科72% 昨年度74%)
(全教科72% 昨年度72%)

・小学校、中学校ともに数年間同様の数値が続いている。ただし、中学校においては、過去10年間における2番目に高い数値(全教科は最高値)である。

・(1)(3)と同様の数値を目標としたときに達成した教科

小学校 家庭(90% 昨年度90%)

中学校 なし(昨年度は社会科(81%)のみ達成)

(3) 授業への取組の意欲 小学校(4教科88% 昨年度89%)
(全教科89% 昨年度90%)
中学校(5教科87% 昨年度87%)
(全教科86% 昨年度86%)

・小学校は目標値とほぼ同程度の数値が続いている。

・中学校は昨年度と同様に過去10年における最高値を維持し、目標も達成している。

・目標を達成した教科

小学校 図画工作(91% 昨年度93%) 家庭(92% 昨年度91%)

体育(91% 昨年度91%)

中学校 国語(88% 昨年度88%) 社会(89% 昨年度89%)

数学 (87% 昨年度86%)	理科 (85% 昨年度83%)
音楽 (85% 昨年度85%)	美術 (86% 昨年度86%)
保健体育 (81% 昨年度86%)	外国語 (86% 昨年度85%)

(4) 全体の平均値	小学校 (4教科84% 昨年度86%)
	(全教科86% 昨年度87%)
	中学校 (5教科78% 昨年度79%)
	(全教科78% 昨年度78%)

3 小学校の状況について

- (1) 授業内容の理解度に関しては、どの学年も社会(83%)と算数(83%)に課題がある。社会は特に5学年の値が低い(79%)。算数はどの学年も同程度である。
- (2) 授業の楽しさに関しては、国語、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、外国語活動において、5学年から6学年にかけて数値が大きく低下している(平均7.8%減)。
- (3) 授業への意欲に関しては、概ねどの教科等においても進んで取り組んでいる。

※理解度、興味・関心、意欲の3観点において伸びている学校(全教科)

○新曽北小 (平均2ポイント増)

4 中学校の状況について

- (1) 授業内容の理解度に関しては、数学(77%)と理科(71%)に課題がある。これらの教科は1学年から3学年へと学年が上がるに伴い、数値を約15%下げている。
- (2) 授業への楽しさに関しても学年が上がるにつれて数値が下がっている。特に、国語・数学・理科・外国語は大きく数値が下がっている(平均17%減)。ただし、過去10年間においては最高値である。
- (3) 授業への意欲に関しては、概ね進んで授業に取り組んでおり、すべての教科で目標を達成した。昨年、目標値を下回った技術・家庭科も81%であった。(2)同様に、過去10年間の最高値である。

※理解度、興味・関心、意欲の3観点において伸びている学校(全教科)

○戸田東中、喜沢中、笹目中 (平均2ポイント増)

授業がわかる調査

全体集計結果(小学校)

(%)

	4年						5年						6年						合計						
	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	
Q1授業の内容がよくわかりますか																									
国語	48	40	88	8	4	1	54	37	90	6	2	1	53	38	91	6	2	1	52	38	90	7	3	1	
社会	44	40	84	11	3	2	44	36	79	13	7	1	53	31	84	9	5	2	47	36	83	11	5	2	
算数	58	26	84	7	7	2	53	30	83	9	6	3	53	30	83	10	5	2	55	29	83	9	6	2	
理科	66	26	92	5	2	1	60	30	90	7	2	1	50	35	85	10	3	2	59	30	89	8	2	1	
Q2授業が楽しいですか	とても楽しい	少し楽しい		どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない	とても楽しい	少し楽しい		どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない	とても楽しい	少し楽しい		どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない	とても楽しい	少し楽しい		どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない	
国語	39	40	79	13	5	4	36	44	80	12	5	3	33	42	75	15	6	4	36	42	78	13	5	4	
社会	40	35	75	17	5	3	35	35	70	17	8	4	52	24	76	12	7	5	43	31	74	15	7	4	
算数	53	25	78	11	7	4	43	32	75	12	7	5	37	31	68	17	8	7	44	29	74	13	7	6	
理科	73	19	92	5	2	1	57	25	82	10	4	4	45	29	74	15	5	5	58	24	83	10	4	4	
音楽	70	19	89	7	2	2	65	22	87	7	3	3	54	25	79	11	5	5	63	22	85	8	3	3	
図画工作	76	15	92	5	2	2	74	18	92	5	2	1	59	24	83	10	3	4	70	19	89	6	2	2	
家庭							82	13	95	4	1	1	60	26	86	8	4	3	71	19	90	6	2	2	
体育	76	14	91	5	3	2	70	17	86	7	4	3	67	18	84	8	4	4	71	16	87	6	4	3	
外国語活動	54	27	81	10	4	4	47	31	78	12	6	4	37	31	69	17	7	7	46	30	76	13	6	5	
Q3授業に進んで取り組んでいますか	進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる		どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる		どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる		どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる		どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない	
国語	54	35	89	8	2	1	52	38	90	7	2	1	54	35	89	7	2	2	53	36	89	7	2	1	
社会	50	34	85	11	2	2	47	37	84	11	3	1	60	26	86	9	3	2	52	33	85	10	3	2	
算数	65	22	87	9	2	2	59	29	88	8	2	2	57	29	86	9	3	2	60	27	87	9	3	2	
理科	71	22	92	6	1	1	60	27	88	8	2	2	54	31	84	10	3	2	62	26	88	8	2	1	
音楽	70	20	90	7	2	2	67	23	90	7	2	1	63	23	86	9	3	3	67	22	88	8	2	2	
図画工作	76	17	93	5	1	1	75	18	93	5	1	1	65	23	88	8	2	2	72	19	91	6	1	1	
家庭							79	15	95	3	1	1	66	23	90	7	2	1	73	19	92	5	2	1	
体育	75	17	92	5	1	1	71	19	90	6	3	1	70	20	90	6	2	2	72	19	91	6	2	2	
外国語活動	62	24	86	8	3	3	55	29	84	11	3	2	49	31	81	11	4	4	55	28	83	10	4	3	

※小数点以下第一位を四捨五入しています。

授業がわかる調査

全体集計結果(中学校)

(%)

	1年						2年						3年						合計						
	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	よくわかる	だいたいわかる		どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない	
Q1授業の内容がよくわかりますか																									
国語	38	51	88	8	3	1	30	47	76	14	8	1	28	54	83	12	4	1	32	51	82	11	5	1	
社会	39	43	82	11	6	1	39	43	82	11	6	2	42	38	80	11	6	3	40	41	81	11	6	2	
数学	50	35	85	7	5	2	43	33	76	12	8	3	32	38	70	16	10	5	42	35	77	12	8	4	
理科	34	44	78	13	8	2	31	44	75	17	6	2	19	43	62	21	13	4	28	44	71	17	9	3	
外国語	42	36	77	12	7	3	34	37	71	15	10	4	29	33	62	21	11	6	35	35	70	16	9	4	
Q2授業が楽しいですか																									
国語	43	40	83	12	3	2	28	40	68	22	6	4	20	45	65	26	5	3	30	42	72	20	5	3	
社会	54	28	81	12	4	2	38	38	76	16	4	3	48	31	79	14	3	4	47	32	79	14	4	3	
数学	46	34	80	14	4	2	39	32	71	16	7	6	23	36	59	25	9	7	36	34	70	18	7	5	
理科	35	38	74	17	6	3	34	40	75	17	4	3	17	42	59	27	8	6	29	40	69	21	6	4	
音楽	43	36	79	15	3	3	33	37	70	19	6	4	32	38	70	19	7	4	36	37	73	18	6	4	
美術	50	33	84	12	2	2	39	36	75	17	5	4	32	40	72	19	6	4	41	36	77	16	4	3	
技術家庭	26	38	64	23	8	5	26	39	65	24	7	4	18	40	58	30	7	5	23	39	62	26	7	5	
保健体育	45	31	76	16	6	2	37	33	70	19	6	5	40	32	73	17	6	4	41	32	73	17	6	4	
外国語	41	34	76	16	5	3	31	37	69	21	5	5	24	37	61	25	8	6	32	36	68	21	6	5	
Q3授業に進んで取り組んでいますか																									
国語	50	41	91	7	1	1	42	44	85	12	3	0	44	44	88	9	2	0	45	43	88	9	2	1	
社会	56	34	90	7	2	1	50	38	88	10	2	0	55	34	90	7	2	0	54	35	89	8	2	1	
数学	60	31	91	7	2	0	50	35	85	11	3	1	48	37	86	10	3	1	53	35	87	9	2	1	
理科	47	41	88	9	2	1	47	39	85	11	3	1	38	44	81	14	3	1	44	41	85	11	3	1	
音楽	53	35	88	10	2	1	47	36	82	15	2	1	47	38	86	11	3	1	49	36	85	12	2	1	
美術	56	34	89	8	2	1	48	35	84	14	2	0	45	41	86	10	3	1	50	37	86	11	2	1	
技術家庭	39	42	81	15	3	1	40	41	81	16	2	1	35	47	82	15	2	1	38	43	81	15	2	1	
保健体育	56	33	89	9	2	1	49	34	83	14	2	0	53	35	88	9	2	1	52	34	86	11	2	1	
外国語	57	33	90	7	1	1	48	36	84	12	3	1	43	39	82	14	3	1	50	36	85	11	2	1	

※小数点以下第一位を四捨五入しています。

「授業がわかる調査」の市内小中学校結果推移(経年変化(3年間))

【平成30年度】

目標達成

I 小学校4教科・中学校5教科(平成27年度からの調査結果推移)

1 授業の内容がよくわかりますか。(%)

		よくわかる	だいたいわかる	計	目標値との比較	どちらともいえない	少しわからない	ほとんどわからない
小学校	H28 6月	58	31	89	-1	7	3	1
	H29 7月	55	33	88	-2	7	3	1
	H30 7月	53	34	87	-3	8	4	1
中学校	H28 6月	36	41	77	-3	14	7	2
	H29 7月	36	41	77	-3	14	6	3
	H30 7月	35	41	76	-4	13	8	3

2 授業が楽しいですか。(%)

		とても楽しい	少し楽しい	計	目標値との比較	どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない
小学校	H28 6月	47	32	79	目標設定なし	13	5	3
	H29 7月	49	31	80		12	4	4
	H30 7月	46	32	78		13	5	4
中学校	H28 6月	33	36	69		21	6	4
	H29 7月	37	37	74		17	5	4
	H30 7月	35	37	72		19	6	4

3 授業に積極的に取り組んでいますか。(%)

		進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる	計	目標値との比較	どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない
小学校	H28 6月	56	32	88	-2	8	3	1
	H29 7月	57	32	89	-1	8	2	1
	H30 7月	57	31	88	-2	9	2	1
中学校	H28 6月	43	40	83	3	13	3	1
	H29 7月	49	38	87	7	10	2	1
	H30 7月	49	38	87	7	10	2	1

I 小学校・中学校の全教科(平成27年度からの調査結果推移)

1 授業の内容がよくわかりますか。

※ この項目については、小学校は4教科、中学校は5教科のみ実施している。

2 授業が楽しいですか。(%)

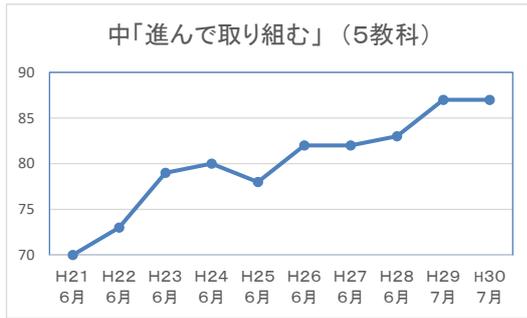
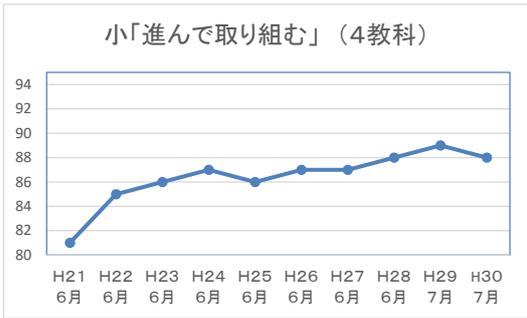
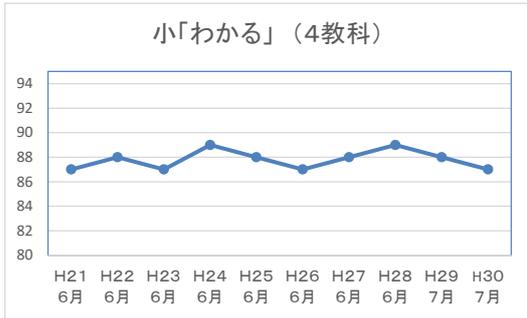
		とても楽しい	少し楽しい	計	目標値との比較	どちらともいえない	少し楽しくない	楽しくない
小学校	H28 6月	56	26	82	目標設定なし	11	4	3
	H29 7月	58	25	83		10	4	3
	H30 7月	56	26	82		10	4	4
中学校	H28 6月	33	36	69		21	6	4
	H29 7月	36	36	72		19	5	4
	H30 7月	36	36	72		19	5	4

3 授業に積極的に取り組んでいますか。(%)

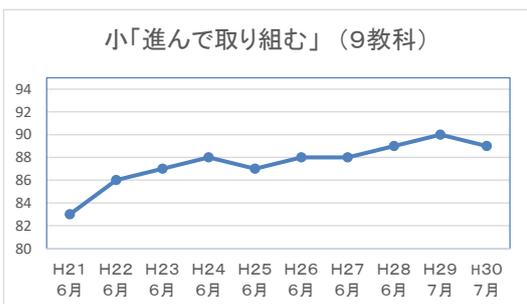
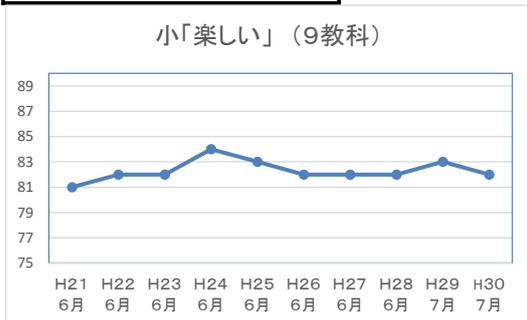
		進んで取り組んでいる	だいたい進んで取り組んでいる	計	目標値との比較	どちらともいえない	あまり進んで取り組んでいない	進んで取り組んでいない
小学校	H28 6月	61	28	89	-1	8	2	1
	H29 7月	63	27	90	0	7	2	1
	H30 7月	63	26	89	-1	8	2	1
中学校	H28 6月	43	39	82	2	14	3	1
	H29 7月	48	38	86	6	11	2	1
	H30 7月	48	38	86	6	11	2	1

「授業がわかる調査」の市内小中学校結果推移グラフ(10年間)

小4教科・中5教科

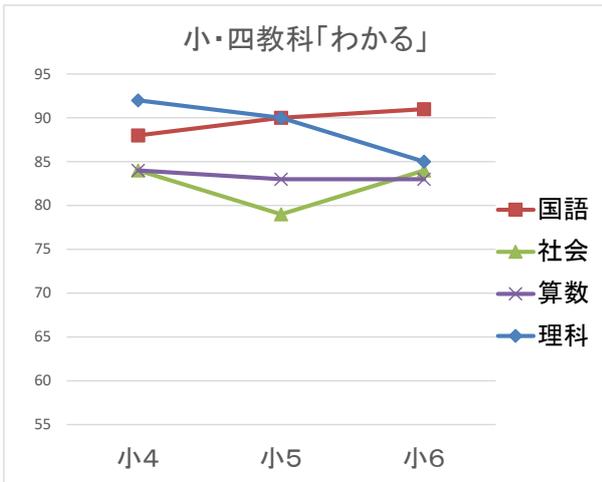


小・中全9教科

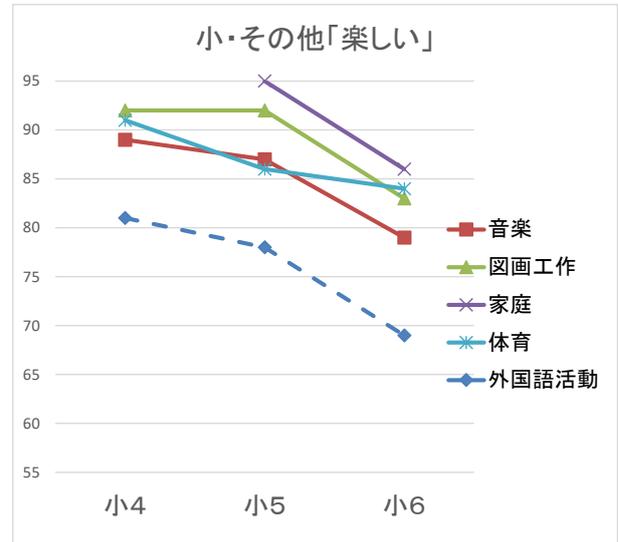
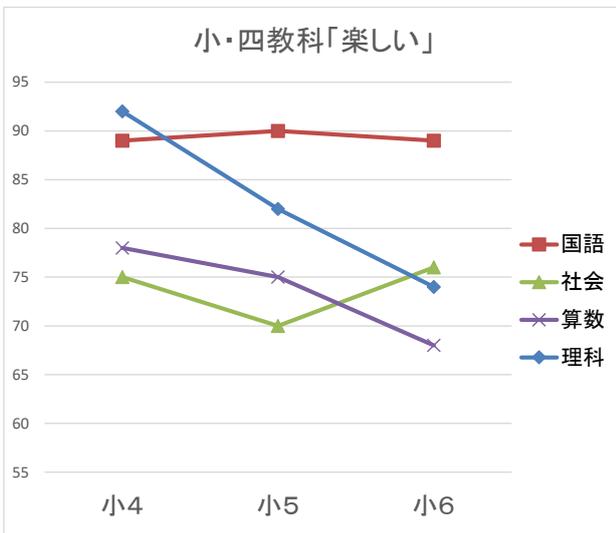


【参考】学年ごとの教科別推移グラフ① 小学校

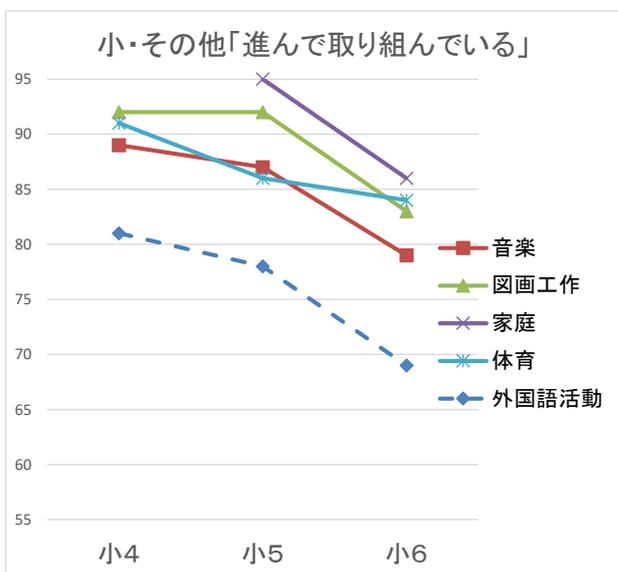
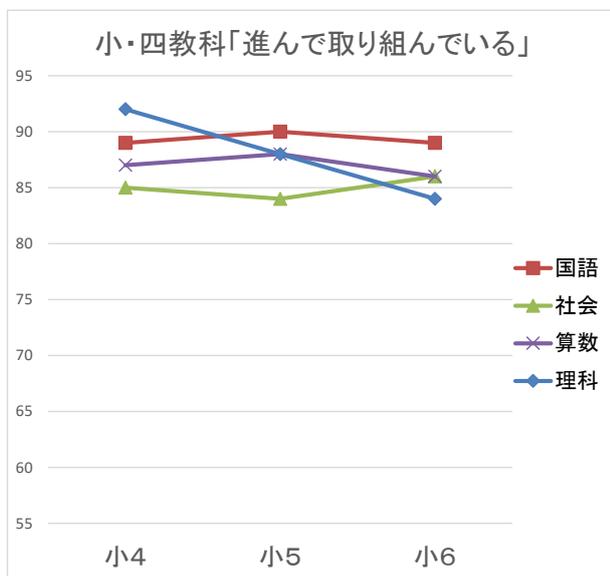
【1】授業がわかる



【2】授業が楽しい

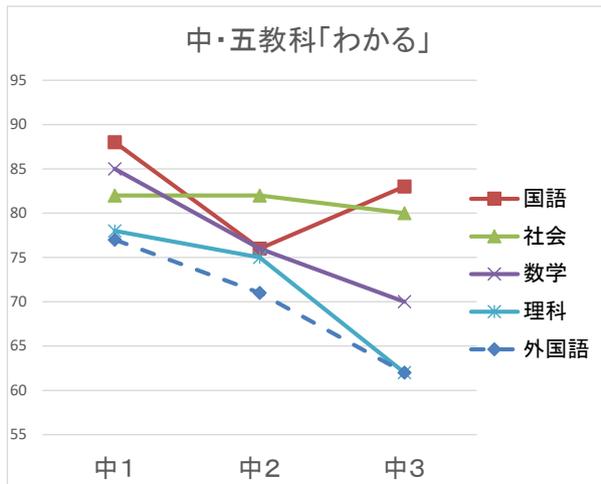


【3】授業に進んで取り組んでいる

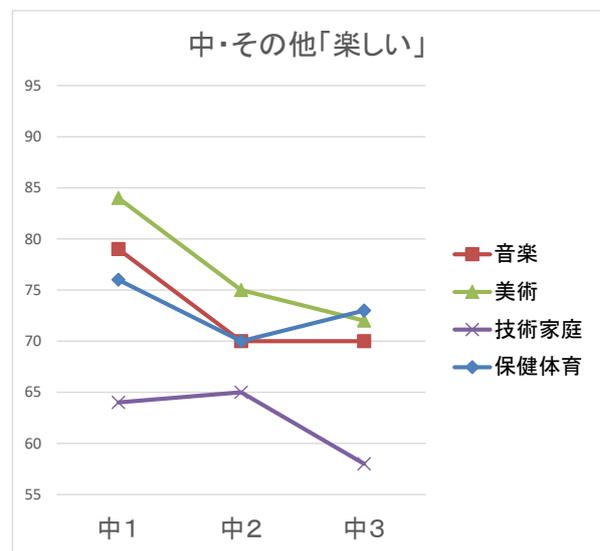
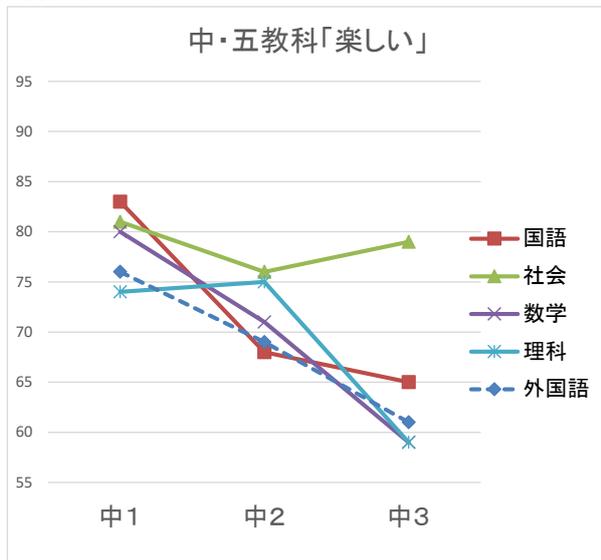


【参考】学年ごとの教科別推移グラフ②中学校

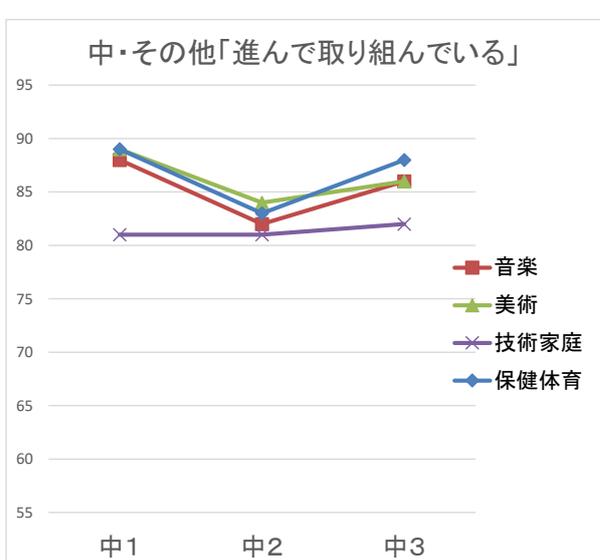
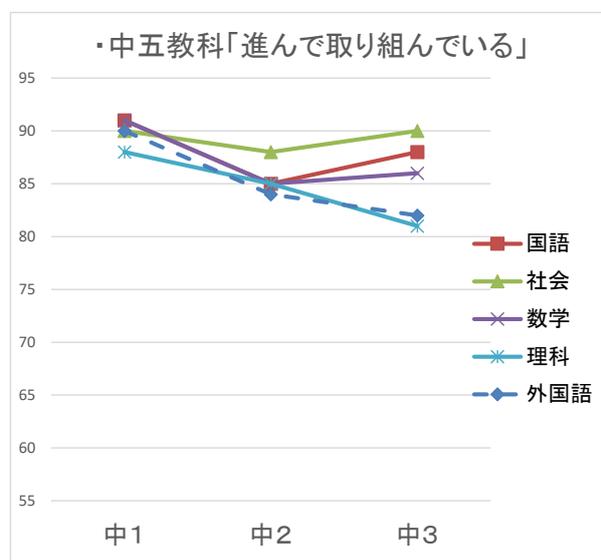
【1】授業がわかる



【2】授業が楽しい



【3】授業に進んで取り組んでいる



平成30年度 市民大学認定講座

家庭教育学級「子育て講演会」

参加費無料

演題 じょうぶな子どもをつくる基本食



講師 フーズ&ヘルス研究所 代表

まくうち ひでお

幕内 秀夫 氏

《プロフィール》

ベストセラーとなった『粗食のすすめ』の著者。東京農業大学栄養学科卒業。管理栄養士。山梨県の長寿村を知って以来、伝統食と民間食養法の研究を行う。日本列島を歩いての縦断や横断、また四国横断、能登半島一周などを重ねた末に、“FOODは風土”を提唱。

飽食の現代社会の中で、何を食べれば健康に良いのか。何を食べさせれば子どもの成長に良いのか。疑問を解決し、気持ちが楽になる話を進めながら、毎日の食生活を見直していき、食による健康づくりを考えていきます。

日時 平成30年10月12日(金) 午前10時30分～12時
(受付：午前10時～)

会場 戸田市役所5階大会議室

対象・定員 市民・20人(市内小中学校PTA会員の参加有り) 託児室有り

申込 9月3日(月)より申込開始します。 電話・メール・FAXにて下記まで



生涯学習マスコット マナビ

【お申し込み・お問い合わせ先】
教育委員会 生涯学習課 (戸田市民大学事務局)
電話 048-441-1800 (内線、342、466)
FAX 048-432-9910
メール kyo-syogaigaku@city.toda.saitama.jp